

平成30年度分_地方創生推進交付金の評価

対象事業 第2のふるさとといばらきプロジェクト 移住体験バスツアー
(平成30年度分_地方創生推進交付金)

評価日時 令和2年1月23日(木) 午前10時～
(常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議時)

会議場所 常総市役所 市民ホール

評価者 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員

評価方法 事務局より事業結果等について説明し、質疑応答の後に「KPI達成に有効であった」もしくは「有効とはいえない」の2択を会議出席の委員に評価を受けるほか、意見を集約した。

～評価結果～

1. 会議出席者数 15名

2. 評価結果 「有効であった」・・・13名

「有効とはいえない」・・・2名

3. 事業に対する意見

①肯定的な意見

- ・継続実施していただきたい。やることに価値あり。枝葉末節な意見も多くなると思いますが、「まずはやる・まずは動く」を前提として頑張って進めてもらいたい。
- ・県外の方の意見・感想から、良い点や課題となる内容が見えたと思う。常総市に対する印象の一つのデータとして生かしていただきたい。
- ・参加者の満足度も重要であると思われるが、それ以上に市外の方々が当市に対してどのようにイメージを持ち何が足りている一方、何が不足しているのかを知る機会になったと思います。
- ・常総市にゆかりのない方々に「常総市を知ってもらおう」という意味で、ある程度の効果はあったと思う。
- ・道の駅(他の施設も)等のアピール活用の有効性を、今後も有意義に活用できるものと思われます。
- ・1回目とはいえ、一步を踏み出せたのは意義があったと思います。

②否定的な意見

- ・ どういった方々に、この常総に移住してもらいたいかというところからのアプローチで企画を立てることも考えるべき。
- ・ 次回は子育て世代を取り込む努力が必要。
- ・ 旅行目的の方も多かったので、「居住体験」に向けた実施内容を検討し、改善しつつ、次につなげてほしい。
- ・ 企画は悪くないと思うが、参加者に高齢者と思われる世代が多いのが残念。
(50~70代：81%)
- ・ 短期的にはイベントに一つに過ぎず、効果は限定的と判断せざるを得ないと思います。
- ・ 観光バスツアーのようで、この内容では移住を考えることはできない。
- ・ 首都圏から常総市へ移住体験するだけの魅力が少ない。飲食店や病院なども少なく、他市へ買い物に出かけないと難しい。
- ・ 一番望まれているのが、公共交通機関。乗合デマンド交通は市民のみのため、ヨソから来人は使用できない。そのため観光客も移住したい人も来ない。

③提案的意見

- ・ 旧水海道や旧石下の歴史を残した伝統行事や、寺社仏閣ツアーなどを工夫してはどうか。
- ・ 「都心からのアクセス」や「コメ」といった常総のアピールを体験ツアーの中に入れてらどうか。
- ・ 移住体験バスツアーの時期の検討や、農産物を取り入れていただきたい。
- ・ 「鬼怒川サイクリングロード」等も入れて、様々な方面から常総市の可能性を見出してほしい。「居住+観光地等」
- ・ 公募に対して、次回は幅を持たせるように改善してほしい。
- ・ 県のアンテナショップも活用して、東京都内の参加者を募るとよいと思う。
- ・ 今後は移住または二地域交流に直結するプログラムも含める必要があるのではないか。